

たかおか 更生保護だより

(発刊20周年)



発行
高岡市保護司会
高岡市更生保護協力会
高岡市役所社会福祉課内
〒933-8601 富山県高岡市瓜小路7-50
☎(0766)20-1367 Fax 20-1371
高岡市更生保護サポートセンター
高岡市役所東別館2階
☎(0766)53-5101 Fax 53-5102
E-mail:tksc@takaoka-hogosikai.org



平和観音像 道の駅「万葉の里 高岡」

能越自動車道高岡インターチェンジ側

2020年12月9日、旧高岡地域地場産業センターに安置されていた「平和観音像」が、道の駅「万葉の里 高岡」駐車場入り口に移設された。観音像は地場産センターが開設された1983年に、高岡銅器など地場産業の発展を願って高岡銅器卸問屋「織田幸銅器」が寄贈した。総高は12メートル、重量は12トン。原型は京都市の仏師・長田晴山(せいざん)作。真新しい青銅色をまとった観音像は東(立山連峰)に向かって立っており、訪れた方々は西(西方浄土)に向かって拝むこととなります。(本気の10段ソフトなどが人気/200円)

高岡市更生保護関係者の皆様、こんにちは。高岡市長の角田悠紀です。日頃より、高岡市民の安全・安心の確保にご尽力を賜り、厚く御礼を申し上げます。今回、寄稿の機会をいただき、私からは皆様方に是非、お願いをさせていただければと思います。

高岡市においても他の都市と同様に、凶悪な犯罪は起きています。犯罪を起こさせない、犯罪が起きにくい、また罪を犯したとしても更生できるまちを目指して、高岡市も全力で取り組んでおりますが、行政だけでは到底叶いません。お一人おひとりが、ご自身にできることを考え、今から行動していただきたいのです。ご近所の方に声をかける「一人暮らしの高齢者を町内で支える」「子供の異変を見逃さない」「元気に挨拶を交わす」など、誰にでも簡単にできることが必ずあるはずで、一人ひとりの行動が安全・安心なまちづくりにつながります。

私も幼少の頃、ご近所の方々に声をかけてもらったこと、時には叱っていただいたこともありました。このことを『懐かしき思い出』として



高岡市長 角田 悠紀

安全・安心な地域社会を目指して

終らせてはいけません。核家族化が進み、ご近所付き合いも希薄化しており、どこに誰が住んでいるのか、分かりづらい世の中になりました。ここにこそ、安全・安心を脅かす事由があるのではないのでしょうか。

人と人がつながり、互いに支え合い、助け合う共助の精神で私たちは共生していかなければなりません。そして、次の世代にバトンを渡す際には、それが「当たり前」の状態としてつなぐことは、今を生きる「大人の責任」であると考えます。

さあ、今を共に生きる市民の皆様、一緒にこのまちを、安全で安心なまちにしていきましょう。高岡市役所としても、職員一丸となって、真の意味で、安全なまちづくりを、安心して暮らせる地域づくりを目指し、一歩一歩着実に進んで参ります。

また引き続き、貴団体をはじめ、市民の皆様と歩みを共にし、進んでいくことをお約束申し上げます。

志ある保護司会の皆様には、当然の内容をお願いさせていただきますが、いまだ、心を一つ、高岡市の閉塞感を打ち破るために、市民の皆様の手を結集していきましょう。宜しく願います。

結びに、皆様方の益々のご活躍、そして全ての市民方のご健勝、ご多幸を心よりご祈念申し上げます。





第71回『社会を明るくする運動』メッセージ



大臣メッセージと富山県知事メッセージ

そこで、今年市内各小・中・義務教育学校の校長先生にも、総理大臣メッセージと富山県知事メッセージ

学支援などに取り組みられています。

保、学校等との連携した就

村や国、民間団体等と連携を強化し、就労・住居の確保、学校等との連携した就

達されました。

今年度の総理大臣メッセージの中には「犯罪や非行の防止と、犯罪や非行をした人たちの更生には、地域の輪に迎え入れて、再出発を支えること」、また「デジタルツールの活用などによる新たな繋がりを生み出す取り組みの必要性」が謳われています。

本年7月1日、コロナ禍の中、昨年引き続き、高岡駅南北自由通路「万葉ロード」での街頭啓発活動は中止となり、高岡市役所3階庁議室での伝達式となりました。

内閣総理大臣のメッセージは、高岡市推進委員会会長高橋正樹高岡市長へ、高岡市保護司会平田和雄会長より伝達され、富山県知事メッセージは、高岡市議会福井直樹議長へ、高岡市保護司会鹿嶋茂副会長より伝達されました。



鹿嶋副会長から福井議長へ



平田会長から高橋市長へ

ジのコピーをお渡しし、本年も7月を強化月間として、全国で展開されている「社会を明るくする運動」への理解と協力をお願いしました。(地域活動部会長 田子 実)

第71回『社会を明るくする運動』公開ケース研究会 in 五位



次に、吹奏楽部の交流活動の紹介があり、「心のふれあいコンサート」として、部員一人ひとりの音を大切に

研究会が始まりました。

研究会では、生徒会交流活動の西高清掃(西高岡駅)や、あいさつ運動など、これまでの歩みと、これからの活動の提言が発表されました。

市推進委員会平田和雄副会長の挨拶、山森義人校長の挨拶ののち、公開ケース研究会が始まりました。

当日はコロナ禍のため、3年生と保護司会や更女会は体育館、1・2年生は各教室で中継を見るところという形を取りました。

本年7月21日、第71回「社会を明るくする運動」の一環として、高岡市立五位中学校において、「繋がり〜みんなで創る明るい社会〜」というテーマのもと、公開ケース研究会が開催されました。

開催の趣旨は、五位中では地域の方々の支えのもと、さまざまな活動に参加していることから、これまでの取り組みを振り返り、地域との関わり方や地域の一員として、できることを考えることにより、学校と地域が連携する明るい社会づくりの推進に努めることを目的としていることです。



吹奏楽部の「心のふれあいコンサート」



挨拶する山森義人五位中学校長

にした迫力のある素晴らしい演奏がありました。

閉会式では、市教育委員会岩田正弘主幹から講評があり、安居登西部支部長の閉会の挨拶で終了しました。(総務部会 清水 康男)

高岡市更生保護協力雇用主会長就任のご挨拶

この度、8月23日開催の協力雇用主会理事会におきまして、会長に就任いたしました八田正人でございます。

昨年に続き、コロナ禍においての総会開催が不可能となり、理事会でご承認をいただいた次第です。

会長という大役を拝命し、身の引き締まる思いであり、役員の皆様や会員の皆様のご理解とご協力を賜りながら、この職責を全うする覚悟でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、政府が掲げる再犯防止政策の最大のポイントは「就労支援」で、この「就労支援」を担うのが協力雇用主会です。行政からの期待は、より高まり、この目的を達成しつつ、明るい社会を作るために、皆様方のご尽力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

新役員紹介

- | | | |
|------|--------|------|
| 相談役 | 塩谷 雄一 | (新任) |
| 〃 | 山口 正志 | (新任) |
| 会長 | 八田 正人 | (新任) |
| 副会長 | 山岡 弘之 | (新任) |
| 〃 | 平田 和雄 | (新任) |
| 常務理事 | 林 光彦 | |
| 〃 | 金森 裕治 | |
| 理事 | 狩野 忠則 | |
| 〃 | 桃井 正行 | |
| 〃 | 上田 暁 | |
| 〃 | 花田 将司 | (新任) |
| 〃 | 平野 榮一 | |
| 〃 | 鹿嶋 茂 | |
| 〃 | 安居 登 | |
| 〃 | 清水 康男 | (新任) |
| 〃 | 耳浦 博行 | (新任) |
| 〃 | 中臣 信随 | (新任) |
| 〃 | 作井 宗人 | |
| 〃 | 山本 美和子 | |
| 〃 | 田村 東八郎 | |



高岡市更生保護女性会理事研修会報告

6月10日、平成の大改修を終えた勝興寺を、18名の参加で見学しました。

荘厳な唐門をくぐると、まず銀色に輝く本堂の大屋根が目飛び込み、それに連なる堂々とした大伽藍に圧倒されました。

ガイドの方には寺の歴史、建築物の高い格式、そして文化財保存の一方で防災設備等の工事という今回の改修工事について詳しく説明を受け、有意義な見学となりました。

地元では「ふるこはん」と親しまれているお寺ですが「高岡の宝」として誇らしい気持ちになりました。

見学後、11年余り本会を精力的に率いてくださった高橋陽子会長に講話していただきました。

従来の活動ができない昨年と今年、何ができるか何が必要とされているかを共に考え、医療従事者への、お弁当プロジェクトや、シトラスリボン活動を行いました。

会長は、活動を振り返りながら、



本会とのご縁や活動の意義を、終始笑顔で話されました。

最後に「ほっとけない！大切なあなただから」を胸に、これからも「おせっかい」を大切に、活動を進めてほしいと、熱いメッセージをいただきました。

今までの意義ある活動は、会長の強いリーダーシップのおかげです。



今回の研修を通して、大事なものを後世に残す意義と、その大変さについて、改めて考えさせられました。そして、コロナ禍で人と人との距離が隔たってきたように感じられる昨今、挨拶や声掛けでみんなが笑顔になれますようにと願いました。

(更生保護女性会 河合 利志子)

東部支部

屋鋪 英明

—がんばれA子—

私がS保護司と二人で担当しているA子は、将来の就職のために専門学校への進学を希望していますが、高校中退のA子には受験資格がありません。そこで高卒認定試験を受けることを決断し、私の私塾で週3〜4回学習に励んでいます。

高卒認定試験(旧大検)は、年に2回実施されますが、1回で全科目に合格する必要はなく、全ての科目に合格すれば、高卒認定合格が認められます。年齢が18歳前後の基礎学力(中学校卒業程度)がある生徒に向いていると考えています。

もう一つ方法があります。それは単位制高校で必要な単位を得て、高校卒業資格を得ることです。退学前に得た単位も役立ちます。富山県では、日本航空高校高岡、星槎国際高校、トライ式高等学院等があります。年間70万円から100万円の費用がかかります。これをバイト代で出すのはちよつと無理と思われる。家庭の協力が必要となってくるでしょう。ただ、就学支援金として、文科省から年17万円程度が補助されます。

いずれにしても、そもそも学校があまり好きでない子が多いわけで、目的を果たすためには、相当な努力が必要となりますが、再犯防止につながる有効な方策と考えて指導・援助を続けていきたいと考えています。

西部支部

八田 正人

—保護観察を担当して—

私は、ある青年の保護観察を、3年間担当しました。

彼のこれからの生活に関して、あらゆる面について、共に考えていくことが大切なのではないかと思ひ、面接時には、本人の将来について、何度も話し合いをしました。

毎日の目標をしっかりともっているか。今後の生活は一人暮らしで良いのか。それともパートナーが必要なのか。面接を通して、これからの人生をしっかりと送れるように助言しました。



そのためにも日々の行動や、思ったことを日記として記帳することを、習慣化するように勧めました。

一日の目標をしっかりと立てて、スタートし、夜には一日を振り返り、目標が達成できたか、未達成なものは何か、明日は何をしようか、などと、自ら考えてもらいながら、生活することを指導しました。

日記に書くことで、日々の行動や、その時の気持ちの整理整頓をしてもらいたいと、常に願いながら、3年間の保護観察を行いました。

彼は根気よく日記を書き続けてくれて、今は保護観察も無事終了し、一般人として、元気に生活していると聞いています。

南部支部

清水 康男

7月13日、保護司12名と更女会6名で、ミニ集会を開催しました。今回は、今年5月に本館内部大改修を終えた高岡愛育園を会場に、児童養護施設の状況説明と施設見学をしました。

はじめに施設長から園の現状と課題を聞きました。児童養護施設は3歳から18歳までの保護者がいない、あるいは虐待されていた子供が、児童相談所の措置決定により入所しています。

園では現在25名が在籍しており、本館と三つの棟で、男女別に生活しています。女児が17名と多いことや、入所前にネグレクトを受けた子供が、過半数を占めることなどが、園の特徴です。なお、全員元気に幼稚園や学校に登校していることは、学校や関係機関との連携の成果です。

一方、課題は実親が生活環境を改善して、家族再統合に努めることが児童相談所の措置解除の条件ですが、難しいケースが多いことです。

また、実親は施設入所を了承しても里親委託を拒否する傾向が強いので実親同意の促進や撤回の制限を行うと共に、研修や実習を受けた里親の委託率を上げることも課題です。

説明の後、本館管理棟から渡り廊下を通り、食堂や相談室のある1階から2階の女児居住棟を見学して、ミニ集会を終えました。

北部支部

耳浦 博行

当支部の老山薫氏が、10月23日、62歳という若さでお浄土へ旅立たれました。心より哀悼の意を表すと共に、氏の生前のご活躍に、深く敬意を表します。

老山氏とは僧侶の仲間であり、よき朋友でもありました。温和な性格で誰にでも笑顔で接し、その仕事ぶりはきちんとしており、皆からとても信頼される人物でした。

また、未だワープロが主流の時代に、誰よりもいち早くパソコンを導入し、お寺の組合(高岡教区水波組)で、事務局(副組長・相談員)などを16年余り勤め、その組合の中で、あらゆるソフトを誰よりも上手く使いこなし、そのスキルはとても高く、多くの仲間にも丁寧に指導をしてくれました。

また、彼は高岡市保護司会の事務局員として、将来はきっと、事務局長に就任すると皆思っていました。

しかし2年前の秋ごろ、病が見つかってしまい、以来、さまざまな治療を続けて来られましたが、この度、浄土に還られました。

保護司として22年間、もつとやりたいたいことや、やり残したことなどが、あったのではないかと思うと、実に残念で仕方がありません。

これからは老山君、お浄土から私たちが常に見守っていてください。

伏木支部

山口 豊

保護観察官から4号観察・無免許運転事故で、執行猶予3年のA君を担当してほしいと連絡を受けました。

A君は学生時代に、無免許運転や窃盗罪などの前歴がありました。



引受人も交えての面接で、時間をかけたのが仕事探しの話でした。私は仕事をしないといると、再犯率が高いと思っていま

すので、「私も協力するから一緒に仕事を探そう」と言う、「自分で探すから大丈夫です」と、しっかりとした口調で、返事がありました。

約一ヶ月後に往訪し、まだ寝ていたので「面接日なのになぜ起きていないのか」と質すと「今、寝たばかりで起きられんが当たりまえや」と逆ギレされて、反省はありませんでした。こんな時に感情的になるといけないので、心を落ち着かせA君に分かり易く、ハッキリと今後のことを話し合うと真顔に戻りました。

戸田支部

齊藤 恵子

今年もコロナ禍のため、駅前での啓発活動や戸出七夕祭りでの社明パレードが中止になり、残念でした。

しかし、感染防止対策をしっかりとって、ミニ集会は実施しました。更生保護女性会戸出支部では、7月23日、保護司と更生保護のDVD「タクシー運転手殺害事件」を視聴して意見交換を行いました。

更生保護女性会戸出支部では、7月14日、南部支部の村上保護司を招いて「罪を憎んで人を憎まず」と題して、講演をいただきました。保護司と更生保護の3名にも参加いただき、総勢32名が拝聴しました。

また、定期的に戸田支部の研修会も行っており、5月13日に、林保護司より、6月28日には、高桑保護司より、9月30日に、麻生保護司より、保護観察の事例発表がありました。



さまざまなる事例研修を行うことで、面接をするときの参考になり、困難に面したときには適切なアドバイスもいただけます。保護司は、更生保護に携わる者として、常に学びを深めていくことが大切であると実感しています。

福岡支部

山本 清美

第71回「社会を明るくする運動」福岡地区大会を、7月25日、Uホールにおいて開催しました。

今年は、感染対策を徹底し、児童・生徒の参加の無い状況で、発表会を開催しました。例年通り作文を募集し、優秀作品として小学生3名、中学生3名が選ばれました。

家族や友だち、部活動など、家庭や学校で体験したことや感じたことなど、素直で前向きな文章に、胸が熱くなりました。このコロナ禍で、制限の多い生活を送らなければならず、児童・生徒は大変な思いをしていると思います。相手のことを思う優しい気持ちのもとに、友だちや仲間と過ごす時間をとても大切にして迎えることを知り、来年こそ児童・生徒を迎えて実施したいと思っています。

「社会を明るくする運動」の歴史

昭和24年7月1日「犯罪者予防更生法」が施行されました。戦後の荒廃した中であって、東京の銀座商店街の有志が、かねてから街にあふれていた子供たちの将来を危惧し、同年7月13日から一週間にわたって、自発的に「犯罪予防更生法実施フェア（銀座フェア）」を開催しました。

この銀座フェアが共鳴し、翌25年7月1日から10日まで「矯正保護キャンペーン」として、全国に実施されることになりました。

保護司のひとりごと

コロナ禍で急速に進むIT化、私の周りにも否応なく押しかけてくる。取り残されないようにと、携帯からスマートフォンに換えた。LINEや天気予報・フォト・歩数計などのアプリをダウンロード。

カタカナ語や英語の苦手な私にはひと苦労。それでもLINEは人と連絡するには便利であり、天気の様子は何時でも見る事ができる。知ったかぶりで、インターネットで買い物をする。悪戦苦闘、やっと購入できた。店で買うより安かった。この時点では、まだ請求書の見方もわからないのである。ショッピングの後、メールが一日に10件近くも届いて、とても迷惑している。

半年ほどして、スマホの機能や使い方が少し解ってきた。スマホ料金の見方も解りパック料金で500円が引かれてるのが分かった。結局は店で買うより高い買い物をしてきたのだ。小さな文字で、沢山の注意書きがある。よく読みもしないで操作していたのである。これでは、昨今の複雑な詐欺に引かかるのは当たり前だ。

何にでも「一利一害」がある。悪いことに遭遇しない為には「君子危うきに近寄らず」である。こんな私がインターネット犯罪に対応できるだろうかと不安である。

(伏木支部 鹿嶋 茂)

◇面接での特筆すべき点

「見立て」や「支え」について

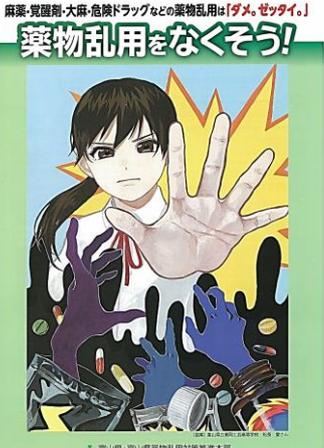
私は、保護司に委嘱される以前は、防犯や犯罪に関わる仕事をしてきました。約40年にわたり犯罪者や非行少年、その家族、被害者等と関わりを持ち、今回、委嘱後初めてとなる生活環境調整と保護観察の担当依頼があり、冷静にお引き受けすることができました。

現場からのレポート

「見立て」と「支え」について!

長年の犯罪者等との関わりや初めての事例を通して思ったことを述べさせていただきます。更生保護の目的は再犯防止ですが、対象者や引受人との面接にあたり、最初から方向性を見失ってしまつては行きつくところが誤ってしまいます。

そこで、対象者の特性を知る上で、生い立ちやおかれてきた環境、性癖、考え方、対人関係等の大量の個人情報を得て、効果的に処遇を進める「見立て」が重要です。保護司が自信を持って面接に当たるには、まず「見立て」に基づき、過去・現在・未来の「相手を知る」とこととします。その点、本年から「アセスメントによる保護観察」が導入され、情報収集・分析・評価が成されて保護観察所からさまざまな情報提供があり、大変有難く思います。



(凶案) 富山県立高岡工業高等学校 松長 愛さん

さて、「見立て」は目的達成の方向性を示すものですが、目的達成のための実行行為が「支え」です。つまり、保護司の心のこもった献身的な活動こそが対象者の支えとなり、「誰一人取り残さない社会の実現」に通じるのです。今回私の対象者は、執行猶予終了直後に再犯した3号観察の男性で、引受人は妻でした。保護観察所から届いた保護観察の実施計画や身上調査書等を何度も読み返し、時間を掛けて対象者の人間性を想像しました。妻との面接では、私の気配りに妻は理解を示し、対象者との面接では、タイミングを見計らって対象者の気持ちを引き出すことに配慮しました。「見立て」どおり進めるには困難が付きまとうのは勿論で、ケースバイケースではありますが、保護司の活動は、保護司ならではのやりがいを感じ取られ、保護観察終了時には達成感が味わえるのではないのでしょうか。(北部支部 中田 保博)

保護司の視点

◇大麻の栽培や密売が全国で蔓延

インターネットで、大麻の栽培器具を販売したり、栽培方法を教えたりしたとして、東海北陸厚生局麻薬取締部が大麻取締法違反(栽培)ほう助の疑いで、サイト開設者の会社役員を逮捕しました。サイトでは、栽培器具の購入者が育てた大麻の密売も仲介しており、栽培から密売まで包括的に関わるグループの摘発は異例です。また、営利目的で大麻草を栽培したとして長崎県警は、大麻取締法違反(営利目的栽培)の疑いで、長崎市の無職の男ら5人を再逮捕しました。県警はこれまでの捜査で大村、諫早両市の民家4軒から大麻草計358株、4容疑者から乾燥大麻計約2.7キログラムを押収し、末端価格は計約1億6千万円相当に上るそうです。



大麻を購入する金欲しさに別の犯罪に発展する可能性を懸念し、「取締まりと啓発の両輪で、抑止を図ることが必要」としつつも、これらの事件は、氷山の一角であると専門家は吐露しています。(広報部)



シャフルボード大会

無事開催される

10月2日、シャフルボード大会を開催しました。昨年は新型コロナウイルスの影響で中止を余儀なくされ、2年ぶりの開催となりました。シャフルボードは、スポーツ&レクリエーション交流会で毎月行っている競技で、好評をいただいております。大会では感染症対策をして、大いに盛り上がりを見せました。



富山保護観察所、高岡市保護司会、高岡市更生保護女性会、高岡法科大学の皆さんのご協力をいただき、無事に開催することが出来ました。平常時であれば、更生女会の方が作ったカレーライスを食べることが出来たのですが、食事は出来ないとのことで、弁当を用意し、持ち帰ることにしました。コロナ禍で薄れつつある人と人との繋がりを、少しでも取り戻していけるように、これからも感染症対策をしながら、交流を深めBBS会活動に取り組みたいと思います。(高岡地区BBS会 萩原 隆幸)

高岡市保護司会活動スナップ



角田市長に村上・曾田保護司が原稿依頼 (9/16)



大仏通りで朝市啓発活動

(着ぐるみのホゴちゃんは東部支部の山崎肇保護司) (7/25)



更生保護ペンギンのちゃんです

シャフルボード大会優勝賞品 更女会員の作品 (10/2)



戸田支部保護司会と 更女会中田支部研修会 (7/14)



社明運動福岡地区大会 (Uホール) 作文優秀作品表彰式 (7/25)

プレミアムドラマ「生きて、ふたたび 保護司・深谷善輔」放送日決定 11/28(日)スタート！ 毎週日曜 よる10時 BSプレミアム・BS4K 同時放送 <全8回/高岡ケーブル103ch>

模索する物語。

館ひろし主演、大人のため... 月放送開始！ 人はみな、何かを背負って生きていく... 館ひろしさん主演の本格ドラマ「生きて、ふたたび 保護司・深谷善輔」の放送は、11月28日(日) BSプレミアムまたは、同4Kにて、同時放送(全8回)です。このドラマは、館ひろしさんが初めて「保護司」を演じ、浅丘ルリ子さん演じる「息子殺し」の罪で服役した保護観察対象者たちと向き合いながら、同時に自らも生き直しを模索する物語。



◇保護司必見！

サラリーマン教師として、平々凡々と生きてきた主人公・深谷善輔(館ひろし)。彼が、第二の人生に選んだのは「保護司」だった。刑期を終えようとする仮出所中の人、そして、保護観察中の人と向き合う保護司としての役目とおして、彼もまた、自らの「生き直し」を模索していた。ボランティアとして、罪を犯したり非行に走った人たちの更生を支える保護司になって8か月。長年勤めあげた高校の国語教師からの転身に、善輔はかつての同級生から「お前が保護司とは」と驚きと親しみ混じりに声を掛けられる日々だった。雑誌記者である娘の美晴(蓮佛美沙子)からも、「お父さん、なんだか変」と奇異な目を向けられてしまう。そんな善輔の前に、今まで出会ったこともない、規格外の「保護観察対象者」が現れる。自分の子供を殺した罪で服役していた小山結子(浅丘ルリ子)。彼女の担当保護司に、善輔が任じられた。結子が出所する日、善輔は彼女を迎えようとするが、扉の外へ出た彼女は想像もしない行動に出て善輔を驚かせる。結子をはじめ、様々な対象者たちと向き合う善輔。彼らを支えようとすると人々もいれば、冷やかかな目を向ける人も。それぞれの立場と思いが交錯する中、次第に善輔が保護司となった真相が浮かび上がってくる。(NHK番組紹介より)

【あらすじ】

令和3年度秋の叙勲・表彰者紹

◇瑞宝双光章

平田 和雄 (東部支部)

○学校教育

◇法務大臣表彰

竹平 幸雄 (南部支部)

近松 裕子 (南部支部)

麻生 修善 (戸田支部)

齊藤 恵子 (戸田支部)

◇全国保護司連盟理事長表彰

鶴谷 茂樹 (伏木支部)

山口 豊 (伏木支部)

◇中部地方更生保護委員会委員長表彰

竹本 俊文 (西部支部)

◇中部地方更生保護委員会委員長感謝状

たかおか朝市実行委員会

◇中部地方保護司連盟会長表彰

原 嘉伸 (東部支部)

高井 眞弓 (伏木支部)

高桑 淨誓 (戸田支部)

◇富山保護観察所長表彰

山崎 栄三 (東部支部)

松野 久仁男 (西部支部)

加藤 進 (南部支部)

白崎 孝則 (南部支部)

◇富山保護観察所長感謝状勤続10年

金森 純美子 (西部支部)

安居 登 (西部支部)

鹿嶋 茂 (伏木支部)

梁瀬 正文 (福岡支部)



コロナに負けるな!!

◇富山保護観察所長感謝状

耳浦 千賀

○家族功勞

有限会社角玄工業所

○民間協力事業者

◇富山県保護司会連合会会長表彰

秋野 智子 (西部支部)

本保 由喜美 (西部支部)

吉久 千恵美 (伏木支部)

◇高岡市功勞者表彰

宇波真一郎 (東部支部)

○定塚校下連合自治会長

竹平 幸雄 (南部支部) 保護司

近松 裕子 (南部支部) " "

有澤 道男 (北部支部) " "

二塚 晃 (北部支部) " "

齊藤 恵子 (戸田支部) " "

保護司の動静

物故保護司

老山 薫 様 (北部支部)

10月23日逝去

◇法務大臣感謝状 (10月29日贈呈)

お見舞い

令和3年8月豪雨災害に遭われた方々に、心よりお見舞い申し上げます。新型コロナウイルスにより、お亡くなりになりました方々に、謹んで哀悼の意を表します。また、罹患された皆様には、心よりお見舞いを申し上げます。さらに、医療従事者の方の献身的な対応に心より感謝申し上げます。(高岡市保護司会)

SC蔵書と新規購入図書のご案内

書籍 誰がために医師はいる (クスリとヒトの現代論) みます書房

著者 松本 俊彦 (精神科医、医学博士)

帯 偏見、分断、刑罰。

アディクション 嗜癖障害の治療は、誰を幸せにすれば終わりになるのだろうか？

依存症は完治しない病。患者たちの隠された悲哀と苦悩が一人の精神科医の道を拓き、導いてゆく。

高岡市保護司会として、更生保護関連図書が現在40冊程度あります。

単行本・文庫本・ワークブック・刊行物・白書などいろいろあります。

SCで管理し、貸出しも行っています。

ので、どうぞご利用ください。

(事務局長 作井 宗人)



スポーツ&レクリエーション交流

ふれあい福祉センター 体育館

毎月1回(開催日は随時案内)

シヤフルボードには、対象者担当の保護司は、ご一緒に参加下さい。

問い合わせ サポートセンター

Tel 0766-53-5101

高岡市保護司会

高岡市更生保護女性会

高岡地区BBS会



民法改正 成年年齢の引下げ
2022年4月1日から、成年年齢は18歳になります。
18 years old

編集後記

地球温暖化や異常気象、紛争による飢餓や貧困・難民の増加など、世界の処々に頻繁に起こっています。差別や格差も深刻で、日本でも失業者やホームレスの増加は、大きな社会問題になっています。

このままでは、人類はいつまで存続できるのかと危惧しています。改めてSDGs17の目標を、自らの課題として深く受けとめ、脱炭素など、持続可能な住みよい環境を、未来に向けてバトンタッチしていくのも、我々の責任ではないかと思えます。

ご寄稿いただいた皆様には、心より御礼を申し上げます。

ここに「更生保護だより第41号」を発刊いたします。(広報部M)

シヤフルボード Shuttle Board
*前の号で申し送っていた、最新の先月のスポーツ